

# 平成30年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」白銀中学校区実践計画書

事務局 八戸市立白鷗小学校（担当：教頭 木村朋子）

## 1 主題（5年次）

『自主的な生活・学習習慣の形成をめざす小中学校・家庭・地域連携のあり方』  
～地域密着型教育とともに、個人の能力の向上、人と人とのふれあいを～

## 2 主題設定の理由

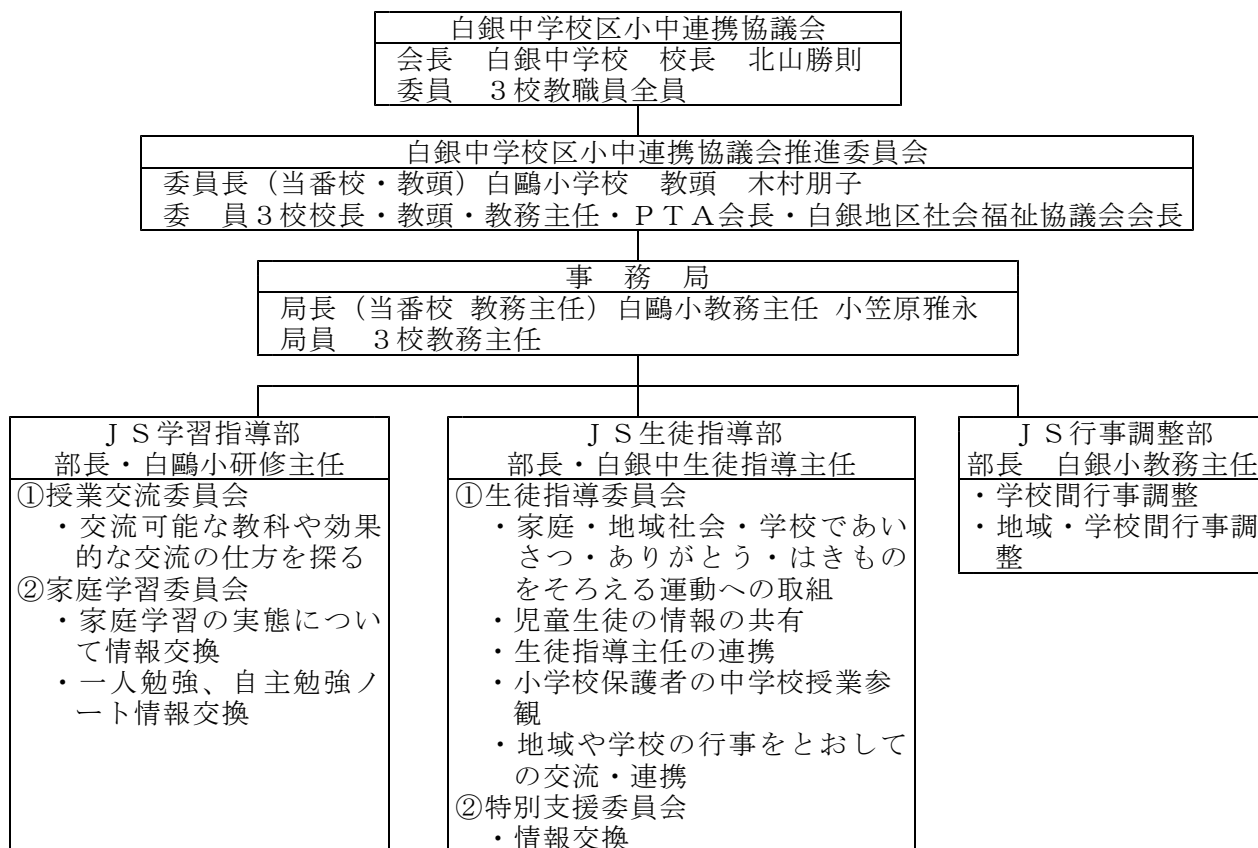
昨年度、白銀中学校区3校とも次の3点について共通して取り組み、以下の反省が出された。

- 重点指導項目①：「気持ちのよいあいさつや返事、はきものをそろえることができる」  
3校によるあいさつ運動の取組、民生委員・民生児童委員協議会の協力によって、児童生徒のあいさつや返事は年々よくなってきている。はきものをそろえるもよくなってきている。
- 重点指導項目②：「家庭学習ができる」  
学習指導部の家庭学習委員会において、3校で一人勉強・自主学習のノートコンクールを開催し、手本となるノートを生徒・児童に紹介した。
- 重点指導項目③：「話をしっかりと聞き取り、はっきりと話すことができる」  
学習指導部の授業交流委員会において、今年度は重点的に「話す・聞く」を指導したことでよくなってきているが、各校の実践を持ち寄るなど、今後も継続して指導する必要がある。

また、「地域密着型教育」の地域学校連携協議会において、「地域ぐるみの教育活動を展開し、明るく活力のあるまちづくりに貢献する」よう ①あいさつ ②ありがとう ③はきものをそろえるの3つを家庭・地域社会・学校において実践することで「あいさつ・ありがとうがいっぱいの白銀まち」づくりに協力して取り組むこととする。さらに、小・中学校ジョイントスクール推進事業の組織と地域学校連携協議会の組織を完全一体型とし、「学校づくりの共有」と「まちづくりの共有」を連携しながら進めることとする。

そこで、今年度も個人の能力の向上と学校間、家庭・地域とのふれあいを『目指すべき二つの姿』とすることを踏まえ、主題を「自主的な生活・学習習慣の形成をめざす小中学校・家庭・地域連携のあり方」とする。生徒指導部では家庭・地域社会・学校と連携した「あいさつ・ありがとう・はきものをそろえる運動」の推進、学習指導部では、「話し方」「聞き方」の指導をすること、一人勉強に対する意欲向上を図る工夫（3校共通項目など）を続けることとする。授業交流委員会では、協同授業の実践に向けて取り組むこととする。

## 3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



※ただし、分科会等開催の場合、地域学校連携協議会委員に案内を出す。

4 中学校区の重点指導項目

白銀中学校区 重点指導項目

- ・気持ちのよいあいさつや返事、はきものをそろえることができる。
- ・家庭学習ができる。
- ・話をしっかりと聞き取り、はっきりと話すことができる。

5 今年度の小中連携の具体的な計画

月	日(曜)	内 容	備 考
5	2(水)	J S 兼地域学校連携協議会 第1回推進委員会	白銀中学校
5	23(水)	授業研究会・分科会組織会 I【第1回地域学校連携協議会】	白銀中学校
6	14(木)	白銀中学校授業及び中総体夏季大会壮行式見学 (白銀・白鷗小学校6年児童)	白銀中学校
7	26(木)	J S 兼地域学校連携協議会及び懇親会 「教育講演会」Ⅱ 担当：白鷗小学校	プラザホテル
11	21(水)	授業研究会・分科会Ⅲ【第2回地域学校連携協議会】	白鷗小学校
1	15(火)	J S 第2回推進委員会	白銀中学校
1	17(木)	第3回地域学校連携協議会 (3校合同歓送迎会打合せ)	白銀中学校
2	4(月)	小・中情報交換会	白銀小学校
2	5(火)	小・中情報交換会	白鷗小学校
2	8(金)	白銀中学校2年立志式見学(白銀・白鷗小学校6年児童)	白銀中学校

※3月 白銀中学校校長より白銀小・白鷗小各6年生へ「中学校へ向けた講話」予定